

# Central Daily Market Report

2019年7月30日(火)  
セントラル短資株式会社 総合企画部

## ●資金需給

単位：億円	2019年7月30日		2019年7月31日		2019年8月1日	
	需給速報		需給予想		当社予想	
銀行券	100		300		▲ 1,000	
財政	▲ 2,100		4,200		▲ 28,000	
資金過不足	▲ 2,000		4,500		▲ 29,000	
金融調節	スタート	エンド	スタート	エンド	スタート	エンド
貸出						
全店共通						
国債買現						
国債売現						
国庫短期証買入						
国債買入						
CP等買入			2,500	▲ 1,000		
貸出支援基金(成)						
貸出支援基金(貸)						
被災地支援						
社債等買入		▲ 100		▲ 100		
E T F買入	400		300			
国債補完供給						
当預増減	▲ 1,700		6,200		▲ 29,000	
当座預金残高	4,054,100		4,060,300		4,031,300	
準備預金残高	3,556,500					
積み終了先	3,555,800					
超過準備	3,555,800				7月31日以降の残り所要積立額	積数 4,600
非準備預金先	497,600				1日平均	300
積み期間(7/16~8/15)の所要準備額						3,193,300
準備預金進捗率	実績	99.86%	日数	48.39%		

## ●2019年7月30日の市場動向

### <インターバンク市場>

本日の無担O/N物は、引き続き各業態ともに資金調達意欲は弱く、邦銀・証券業態を中心に、▲0.08~▲0.06%の調達で始まった。一巡後も同水準の出合いが散見された程度であった。ターム物は1~2W物の引き合いが見られた。金融政策決定会合では、現状維持が決定された。声明文には「先行き、『物価安定の目標』に向けたモメンタムが損なわれる恐れが高まる場合には、躊躇なく、追加的な金融緩和措置を講じる」との文言が追加された。

### <レポ市場>

GC T/N(7/31-8/1)は、▲0.085~▲0.070%程度の出合い。SCはロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。個別銘柄では10Y336~355、5Y136~140、30Y59~63、40Y9~12等にビッドの出入りがあった。

### <短国市場>

現先レート(T/N)は、横ばい圏で推移した。アウトライト市場は、動意なく閑散で、特段の出合いは見られなかった。

### <CP市場>

現先レートS/Nは横ばい圏での推移。CP発行市場は、償還はなかったものの、発行は1,500億円弱見られ、石油・化学等からまとまった発行が実施された。発行レートに目立った変化は見られなかった。

## ●短期金融市場関連指標

2019/7/30	無担(速報)			有担(速報)			短国	東京レポレート	JGB新発10年債		日経平均株価		ドル/円	
	単位：%	最低	最高	平均	最低	最高			平均	直近値	前日比	15時時点	前日比	為替(9時)
O/N	▲ 0.086	0.001	▲ 0.071				-	▲ 0.077	▲ 0.155	▲ 0.005	21,709.31	92.51	108.85-87	108.64-65
T/N							-	▲ 0.078						
S/N							-	-						
1W	▲ 0.055	▲ 0.050	▲ 0.053				-	▲ 0.081						
2W			▲ 0.025				-	▲ 0.083						
3W							-	▲ 0.088						
1M			▲ 0.015				-	▲ 0.097						
3M							▲ 0.123	▲ 0.114						
6M							▲ 0.260	▲ 0.149						
1Y							▲ 0.200	▲ 0.160						
									日付	7/23	7/24	7/25	7/26	7/29
									日銀当預残	4,039,100	4,037,100	4,046,900	4,046,200	4,055,800
									準備預金残	3,514,900	3,518,200	3,520,500	3,534,900	3,559,400
									マネタリーベース	5,160,600	5,158,700	5,169,600	5,169,800	5,179,200
									無担O/N加重平均	▲ 0.065%	▲ 0.067%	▲ 0.071%	▲ 0.073%	▲ 0.072%
									コール市場残高	124,840	123,160	111,818	111,901	110,345
									うち無担	101,703	101,113	89,602	90,685	87,534
									うちO/N	62,728	61,488	56,737	57,120	51,629
									うち有担	23,137	22,047	22,216	21,216	22,811

## ●入札結果

名称	回号	表面利率	発行予定額	発行日	償還日	応募額(億円)	募入額(億円)	募入最低額	募入最高利回	案分率	募入平均価格	募入平均利回	第1非価格競争入札(億円)
本日は財務省による国債等の入札は実施されませんでした。													

## ●オペ結果

種類	オファー額(億円・百万ドル)	スタート日	エンド日	貸付利率	応札総額(億円・百万ドル)	落札総額(億円・百万ドル)	按分レート・利回較差・価格較差	全取レート・利回較差・価格較差	平均落札レート・利回較差・価格較差	按分比率
米ドル資金供給		2019/8/1	2019/8/8	2.65	0	0				

## ●2019年7月31日の予定

*6月の住宅着工統計	*米国FOMC(2日目)	*ユーロ圏4-6月期のGDP1次速報	*交付税特別会計借入
*7月の消費動向調査	*米国7月のシカゴPM景況感指数	*ユーロ圏7月の消費者物価指数速報値	(10,500億円、8/8借入)

## ●日銀金融政策決定会合・結果

●現行の金融市場調節方針を維持することを賛成多数で決定。
(1)長短金利操作(イールドカーブ・コントロール)(賛成7反対2)
短期金利：日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する。
長期金利：10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、長期国債の買入れを行う。その際、金利は、経済・物価情勢等に応じて上下にある程度変動しうるものとし(金利が急速に上昇する場合には、迅速かつ適切に国債買入れを実施する)、買入れ額については、保有残高の増加額年間約80兆円をめどとしつつ、弾力的な買入れを実施する。
(2)資産買入れ方針(全員一致)(長期国債以外の資産の買入れについて)
①ETFおよびJ-REITについて、保有残高が、それぞれ年間約6兆円、年間約900億円に相当するペースで増加するよう買入れを行う。その際、資産価格のプレミアムへの働きかけを適切に行う観点から、市場の状況に応じて、買入れ額は上下に変動しうるものとする。
②CP等、社債等について、それぞれ約2.2兆円、約3.2兆円の残高を維持する。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入